



OKEGAWA hon プラス+



OKEGAWA hon プラス+

3F OKEGAWA hon プラス+

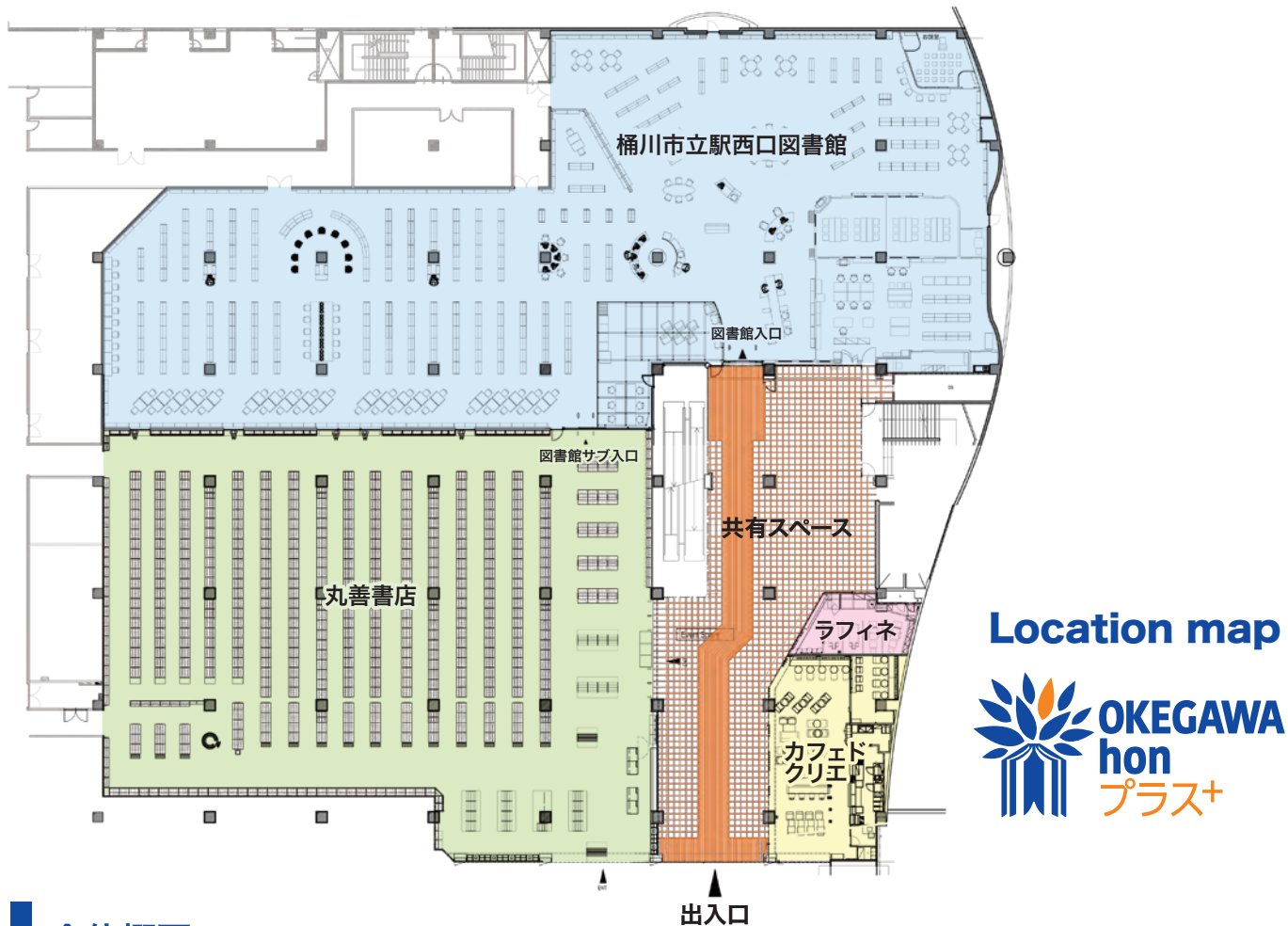
Library

Book

Cafe

TOBU  
STORE

WARIBI



## 全体概要

桶川市将来像「みんなで つくり 育む 活気あふれる交流拠点都市 おけがわ」(桶川市第五次総合振興計画より)に基づき、次世代の知の広場を目指して、旧来から設置されていた駅西口図書館を拡張し、新たな図書館施設を築くことを計画いたしました。

## コンセプト

都市拠点の中に「未来育成拠点」を創造する桶川市の拠点である桶川駅周辺中心市街地を、名実ともに市の文化・交流機能の中心となるように、そのための活動拠点を創造します。

## 施設の基本機能

### 未来育成拠点の創造

都市の未来を育成する文化・交流のための活動拠点として機能します。  
OKEGAWA hon プラス+を構成するテナントおよび公共機関との連携イベントにより、市民に桶川を知り・考えるきっかけをつくり、市民に地域とをつなぐ場として、「コミュニティ醸成」「地域への興味関心喚起」「地域振興への参加」の関心を高めていきます。

### 「学び」のニーズへの対応

市民の生涯を通じた「学び」へのニーズ、地域における次世代への知の共有、継承の必要性を鑑み、書店、公共図書館および大学・研究機関と連携し、知ること・学ぶことで新たな気づきを得られる連携イベントを提供することにより「知」の世界を広げていきます。

### 市民の新たな居場所作り

市民が気軽に立ち寄れる居場所として、連携イベント・プログラムを通じ、新たな出会いそして共創の場をつくり、「地元」としての意識・愛着を育みます。

## 内装デザインの概要

OKEGAWA hon プラス+のインテリアデザインは、施設を構成する図書館・書店・CAFE 等のサービス店舗と運営イベントをつなぐ重要な役割を持っています。

配置計画においては通路・イベントスペースを中核に配し、まわりに図書館・書店・CAFE 等の店舗を配置、環境デザイン面ではボーダーサインデザインや使用建材、造作家具等を共通化する事により、個性ある各々の業態に一体感を持たせるように計画されています。また、生活者と OKEGAWA hon プラス+を『つなぐ』と言う想いから通路の天井及び床面に木目のラインを施す等の工夫がされています。

施設を構成する図書館・書店・CAFE 等の店舗では各々の業態に合った最適な什器レイアウトや照明計画等を本来の良さを損なう事のないように提供し、共通の環境デザインで一体感を与え、生活者と施設全体を『つなぐ』私達の OKEGAWA hon プラス+はこのように考えつくられました。

### OKEGAWA hon プラス+ の構成



#### 桶川市立駅西口図書館

蔵書数 11 万 5000 冊、100 席を超える閲覧席を設置し、市民が図書館に滞在しやすいよう配慮、また開館時間を 21 時までと働く世代にも利用しやすくしました。



#### 丸善 桶川店

売り場面積 380 坪、書籍 50 万冊の品ぞろえを誇る地域の大型書店です。



#### カフェド・クリエ おけがわメイン店

書店、図書館と隣接する形でカフェを設置、オープン時間も図書館、書店とあわせ、市民の憩いの場としてご提供します。

#### ラフィネ おけがわメイン店

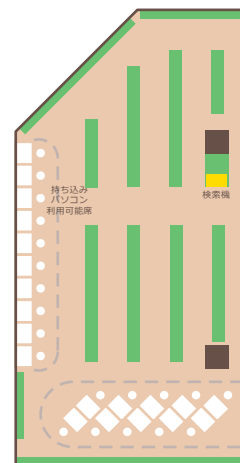
ボディケアやリフレクソロジーなどのリラクゼーションサービスをご提供します。



#### 共有スペース

テナントと連携してイベントを実施することでテナントの活性化を図るとともに、近隣の大学、公共機関、企業等と連携し、市民の方に様々な「学び」を提供する「文化・交流のための活動拠点」として機能していきます。

# OKEGAWA CITY LIB



## 施設コンセプト

「図書館と書店を融合した新しい文化交流施設」を作るために、図書館、書店、カフェ、そして街中の施設と連携し、学びのプログラムを通じて、図書館・書店等での新たな出会い、気づきを誘発します。

図書館は「滞在型図書館への展開」をめざし、限られたスペースの中で効率的に書架及び閲覧席を計画、席数115席を配置し、中央部へのシンボルツリーの配置、児童コーナーの円形書架など各所にシンボリックなスペースを計画し、本との出会いやふれ合いの場を作り出しています。

面積 1,511m<sup>2</sup>

計画冊数 約11万5千冊収容可能

座席 115席

開館時間 10時～21時（平日・土日祝とも）



## 施設計画の特徴

### 居心地の良い読書空間の実現

木を基調とした柔らかな内装、家具を配置。窓の無い商業施設であるために懸念される閉塞感を解消することを狙い、植栽をはじめ、屋外要素を取り入れました。



#### 1 エントランス

マップで図書館全体を紹介するサインがあります。写真左には書籍の自動貸出機が設置され便利向上につながることが期待されます。



#### 2 一般書架コーナー

全体の見通しをよくするため、低い書架を採用、広々とした空間となっています。



#### 3 雑誌新聞コーナー

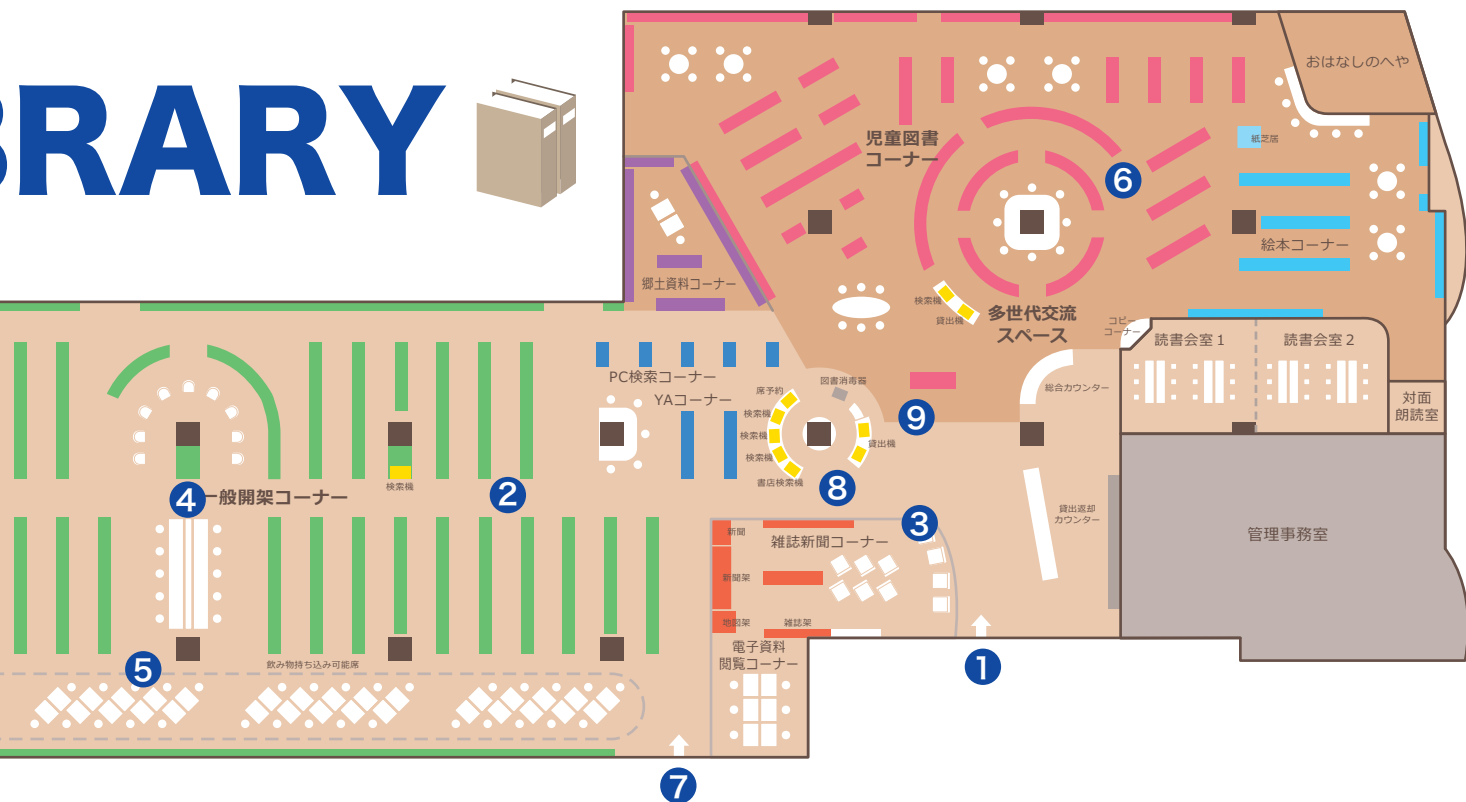
ゆったりとした椅子を採用、居心地の良い読書空間を実現しています。



#### 4 閲覧席

館内に115席の閲覧席を設け、利用者が長時間利用できる滞在型図書館を実現しています。

# BRARY



## 5 様々な閲覧席の整備

市民のニーズに応え閲覧席を多く確保しました。また持ち込み PC へも対応できるよう電源を設置しました。インターネット対応は今後導入を検討しています。またリラックスして本が読めるようフタ付きのドリンクを持ち込むこともできます。



## 6 児童コーナーの充実

親子での利用を想定し、楽しく本を読むためにゆったりとしたレイアウトとしました。親子だけでなく祖父母と孫、兄弟、友人同士といった多世代にわたる交流ゾーンとしての機能も果たしていきます。



## 7 書店隣接の施設設計

図書館と書店が一体となっていると感じていただけるよう、大型の窓を配置するとともに、図書館と書店とを直結する出入口を設けています。



## 8 相互に設置した検索端末

図書館内に書店蔵書を検索する端末が配置されており、図書館内でも書店蔵書の情報を得ることが出来るようになりました。本への出会いのチャンスを拡大します。(書店内にも図書館蔵書を検索する機器を設置しています)



## 9 最新の図書管理システム

UHF 帯を利用した最新の IC 図書管理システムを採用しています。貸出手続きのセルフ化など利便性が向上しています。

イベント・ワークショップ

# Event & Workshop

OKEGAWA honプラス+ では、教育、文化芸術、科学等のキーワードをもとにイベントやプログラムを通じて、様々な知財を市民へ提供していきます。この活動により、人と人が繋がり、様々なコミュニティが生まれ、活気づく事で、桶川市が住みたい街に変わり、未来のある街に変わっていくことを目指します。未来を継承していく人を創っていくことが、未来の街を創っていくための重要な一つの活動になります。その中で特に「教育」をテーマに様々な「知」を市民に提供していきます。

また市の教育機関のみならず、近隣の自治体との新たなコミュニティづくりを大切にしていきます。近隣地域の中で、高等教育機関をはじめ教育、文化、芸術に関わる多くの機関との連携による新たな気づきを OKEGAWA honプラス+ で提供していくことによって、市のみならず、周辺地域に至るまで、「知」を共有していけるようなコミュニティ創りを目指します。この「知」から発展したコミュニティを創ることで「みんなで考える力」「解決する力」「活力を生む力」を育てていきます。

本事業の取組は国策である「地方創生」とも合致しており、桶川市の発展、ひいては日本の活性化に貢献していきたいと考えています。



左から、埼玉県マスコットキャラクター「コバトン」「さいたまっち」 桶川市マスコットキャラクター「オケちゃん」  
桶川市 小野克典市長 株式会社 新都市ライフ 古屋雅弘社長 丸善 株式会社 松尾英介社長 桶川市 前島富雄教育長 図書館 鈴木祥子館長



## OKEGAWA hon プラス+ のロゴ

「OKEGAWA hon プラス+ (オケガワホンプラス)」は、本を中心にイベントや人が繋がっていくことで、地域の暮らしや文化に貢献していきたいとの思いを込めて名付けました。本と葉の繁る木をモチーフにしたマークも、桶川市民の花畑に花のイメージをオレンジ色の葉にあしらって、桶川市で本とともに知や文化が育まれていく姿を表現しています。



### 協力大学の学生による活動

学生や教職員による市民向けのイベントやプログラムを実施します。

学生は課外活動の場として、大学は地域貢献活動の一環としての場として活用します。

また市民の「学び」へのニーズに応え、次世代の知の広場として「都市の未来を育成する活動拠点」として機能していきます。



### 市民ボランティアによる活動

市民ボランティアや各種教育機関と連携していきます。

活動を通じて、未来を担う次世代に知の継承を図っていくと共に、「コミュニティ醸成」「地域への興味関心喚起」「地域振興への参加」の関心を高めていきます。



書店と図書館の新たな出会い

# Bookstore & Library



図書館と書店を併設することによって、本との出会いの機会の拡大を実現します。

見たい本をすぐ手に取れる機会が増え、図書館で読んで気に入った本は書店で購入可能です。また図書館で所蔵するのが難しい参考書なども書店で購入でき、絶版になって購入できない本は図書館で借りるなど、相互の特徴を活かして利用者のニーズに応じていきます。

## 特徴的な施設計画と取り組み



書店と図書館を結ぶ通路を設置しました。



書店の検索端末を図書館にも設置して、書店と図書館、両方の蔵書を調べることが出来るようになりました。



書店と図書館を隔てる壁に大きな窓を設置し、お互いの様子が見えるようになりました。



カフェを誘致し、利用者の休憩スペースを設けました。



〒363-0022 埼玉県桶川市若宮 1-5-2

【お問い合わせ】

**M MARUZEN**

〒105-0022

東京都港区海岸 1-9-18 電話：03-6367-6061  
丸善株式会社 教育・環境ソリューション事業部